

# 調理室のおてつだい

「調理室のお手伝いしてくれてありがとう。」と感謝の気持ちを伝えると、自分が役に立てたと誇らしげな子どもたち。「〇〇（自分の名前）が手伝ってくれて助かった？」「またお手伝いしてあげるね。」「〇〇（自分の名前）がいないとご飯作るの大変？」と、食事を作ってくれる人の存在に少しずつ気付くようになった子どもたちが、次にそうした人々の思いに気付けるようになっていく『調理室のおてつだい』です。

## そら豆のさやとり（2歳児クラス）



硬いそら豆のさやにちょっと苦戦しながらも、じょうずに開けられると中のふかふかベッドに興味深々の子どもたち。きれいに並んでいるそらまめをひとつ、ふたつ取り出しじっくり眺めている子もしましたよ。さやの中に忘れていた豆はないか確認も忘れません。

## 玉葱の皮むき（2歳児クラス）



最初の頃は「できない・・・。」と大人に手伝ってもらっていた皮むきですが、繰り返し経験することで、ひとりで全部むけるようになってきました。「どこまでむくのかな？」「白いのがでてきたよー。」皮の匂いを嗅いでみたり、いろんな発見があるお手伝いです。

## スナッフえんどうすじ取り（3歳児クラス）



すじが途中で切れやすいので、力の入れ方を加減しながらすじをひっぱります。青臭い匂いを苦手と感じ、「みてるだけえ〜」という子もいますが、そんな時は「みているお手伝いおねがいします！」と声掛けするようにしています。お友だちが楽しそうにやっている姿から刺激を受けやり始める姿もあります。